夕刊
磐城時報
七日發行
福島縣平市紺屋町 編輯兼發行人 印刷人 田弘成
福島縣平市 印刷所 磐城時報社
福島縣平市紺屋町十四 發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金卅錢
廣告料一行十四字詰五十錢
日刊（日曜祝祭日）翌日休刊

大瀧發電所設置案 愈々九日の市會で協議
設計變更の內容 平市民成行を注視

平市平電力株式會社計劃の大瀧發電所問題は去る大正十三年平水道に不安な影響を齎らすといふので平市民の猛烈な反對をうけ反對期成同盟會員中の數名が收容された等の犧牲者を出した等平市民にとつて重大問題であつたが、會社當局では其後設計を變更して縣に出願中の處縣では平市の意見を諮問して來たので九日平市會に相談する事になつた。同問題は前記の如く平市民として重大な關心を拂つてゐるものなので市當局では市會には諮問案の形式を避け下相談の意味で協議題として提出、意見の交換を行ふ事になつてゐるがその成行如何は一般で注視してゐる。同發電所の計劃は貧輪村御小屋地內好間川から七十個の水を引き好間村大瀧地內に發電所を設け最大千三百キロ、最少五百五十キロを發電する計劃で落差二百八十一尺、總工費百萬圓である。會社で設計を變更したのは發電所の取入口が平水道取入口の上流に位するため平水道水質に惡影響を與へるといふ不安を緩和するため好間川本流に水が減つた場合は發電に使用した水を百五十馬力のモーターポンプで落差五十尺、平面距離六十八間を平水道取入口まで逆送するといふ內容である。

した後九日午後七時から縣農工銀行平支店樓上に於て總會を開催することになつたが、同會には平署特高柴田部長から「防諜に就て」又會員藤田榮助氏から同氏がこの程瑞穗俱樂部の東部本部協議會に出席したので極めて最近の動きである時局斷片につき講演がある筈である

一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科
平市田町（電五〇九）
院長 中野惠次

平窪桃好評 出荷最盛期

平窪水桃は年收五万貫、その賣上げザツと五萬圓で石城梨子と共に近年メキ／＼聲價を高めてゐるが、今年も漸く出廻り最盛期を迎へ果樹組合長鈴木庄作さん以下出荷準備に忙しい。種類は傳十郎、白桃、雛核の三種で今年は適當の雨量に水分も申し分なく粒も上々、それに相場も去年あたり一貫匁六七十錢のが一圓乃至一圓三十錢といふ十數年來の高値豫想に同業者一同大いに張り込んでゐる。なほ出荷先は概ね地方で遠くは水戸方面であると

貧困者と遺家族慰問

平市社會課では例年通り舊盆に際し二百圓を支出して市內貧困者を救濟するが、市銃後會では出征軍人遺家族に慰問金を贈る

磐中同窓會 十日開く

磐城中學校同窓會定時總會は十日午後一時から磐中校に開き庶務、會計報告、役員改選等を附議後淺水校長の送別會を開く

小名濱の墓地整理 計劃進む

小名濱町都市計畫上市內に散在する墓地を整理する必要に迫られ本町では嚢にその計劃の下に現火葬場西脇高臺一万三千坪を候補地として共同墓地を新設すべく主務省の認可も得既に起債の認可もあり工費も借入れ何時でも着工出來る陣立は整備したが、土地買收は漸く渡りをつけた程度で今日に至つたが、墓地選定地の三分の一を有する東京松本氏の交涉は市外者丈けにこの大ものの決定が先決問題として町では本腰に交涉を續けて居るから不日決定を見るべく然る上は市內居住者の地主のみで急速なる進涉を見る豫定で、町では全部の決定を見次第急速着工を爲す筈である。買收決定價格の標準左の如し
田地反七百圓、畑地三百圓、原野百圓等である

炭礦荒しの詐欺漢 南町の色街で捕はる

東京市本所區綠町生れ元炭礦坑夫鈴木正一（二二）は去る二月三日磐城炭礦小名濱坑に至り坑夫に住込むと欺いて糧食部から白米及び木炭各々一俵を騙取、更に同坑坂本飯場に至り同樣口實で湯本驛に預けて來た荷物を取つて來ると稱して十五圓を騙取逃走中四日夜平市南町の色街を徘徊中平署に捕はれた

姙娠して精神昂奮

双葉郡龍田村大字大谷農菅波講松妻シヅ子（二七）は四日未明家出したので搜索した處同日木戸驛から平驛までの切符を買ひ求め平市新川町木村病院で診察を求めた事が判つたが、同人は姙娠三ケ月で精神昂奮の余り家出したものと判り父甯松さんから平署に搜索方を願出でた

平市の部落常會 精動運動に乘出す

市內常會長會議は昨報の如く十日午後二時から市公會堂日本間に開き過ぐる四市精動事務打合會の決議事項中當面の運動たる國債購入を中心に職業別貯蓄組合の結成及び贅澤廢止徹底などにつき協議、實踐綱を通じて精動運動の完璧を期することとなつた

經國聯盟總會

經國聯盟磐城支部では去る二日夜支部長の平市南町大森勇氏方に役員會を開き會務諸般を協議した

菊地巡査寄附

平署巡査菊地利君はこの程無事歸還されたが、留守中お世話になつたと六日市銃後奉公會並に國婦分會へ十圓宛二十圓を寄附した

バスに跳ね飛さる

平市古鍛冶町好間軌道自動車部運轉手木田義直（三七）は去る七月二十八日午前十時半頃平市久保町地內をバス運轉中路上で遊戲中の同町農青木順平長男榮一（六ツ）さんを跳ね飛ばし頭部其他に全治一週間の傷を負はせた事發覺七日平署で取調べてゐる

北支から
森下眞雄君通信

拜啓暫く御無沙汰いたし居る間にスツカリ夏になつてしまへました。其の後皆々樣には益々御隆盛の段御喜び申上げます。降て小生相變らず元氣で居ります故他事ながら御休心下さい。この度は市の狀況を御知らせ下され鄕土の隆盛なることに安堵いたし、又銃後の方々の熱誠な慰問文を賜はり其の上慰問品の數々を頂戴いたし厚く御禮申上げます。銃後は我々以上の御勞苦であるなかに斯うした御厚情はほんとうに勿体ないと感謝感激に堪えません。皆樣の御厚志の萬分の一に報ゆる覺悟で居りますれば何卒この上共に御指導御鞭撻を御願ひ申ます。去る○月末から約一ケ月東部國境○○山岳地に○○の目的遂行のため出動致し立派に達成致しました。○○山岳地は大密林にて鶯やカコー鳥の鳴き聲やマムシノロシカの一種熊なども居ります。一度に六匹の熊に出會つた時は一寸手も足も出ませんでした、何しろ絕對發砲を禁じられて居りますのでだが、我々軍人の勇氣に恐れて彼れ等にも手が出ず何事もなかつたです。あの熊一匹を手土産にして行つたならと思ひました。どんなことがあつても我々は頑張ります。東洋平和の來るまでは大いに頑張ります。その覺悟ですから銃後の方々も御休を御大切に御活躍下さるやう御願ひ致します。先づは簡單ながら御禮かたがた御知らせまで。早々

平市人事錄

○出生 才槌小路四佐藤富發さん五男守利君、古鍛冶町吾正木武司さん五女キヨ子さん
▲死亡 立町一北崎セツ子（三）

瑄光院新盆に相當り候處物資節約の折柄提灯其他供物は甚だ乍勝手絕對御辭退申上べく萬一御惠與被下候ても乍失禮御返し申可く候間御諒承の程願上候

昭和十五年八月五日
平市紺屋町
加納邦武

ネオン街の表情（二）
▽…東京から
帆形呂久郎

現に角、このやうな狀態が今後續くとしたら、一体ビール黨の若き紳士諸君はどうなるだらう。思つただけでもお涙ものがある。だから、誠に意地汚ない話で恐れ入るが、僕などちか頃外國映畫を見てゐて、ビールをカラ／＼飲んでゐるシーンが現はれると、この野郞俺にも一杯飲ませろと怒鳴りたくなつてしまふのである。アメリカではあんなにビールが飲めるのかしらと思ふと、僕は何故アメリカ人に生れなかつたんだらうなんて、徐々さもしい根性を起したりする。

だが、結局はどうにもならないのである。先日も新宿の或る屋臺店でヤキトン（燒鳥ではありませんぞ）を食べてゐたが、急にビールが飲みたくなつたので、一本頼んだところ、そこの女の子は（彼女は丸ポチャのなかなかの美人であつた）いきなり僕のそばへグラスを置いて『これを一杯だけお飲みになれば、ビールを出しますわ』と云ふ。

見ると、彼女が片手に持つてゐるのはなんとメチルのウエスケである。僕は驚いて『駄目だ、此の間それを飲み過ぎて胃をこわしたばかりだから、ビールを吳れ』と云ふと、彼女は

『でも、規則としてウヰスキー』『彼女はウヰスキーと發音したですぞ』を一杯飲んで頂けなければビールはお賣り出來ませんの』

『しかし、飲めないものは仕方がないぢやないか、少し位高くつても好いから、特別ビールをわけて吳れよ』

『いゝえ、規則ですから駄目です』

彼女はガンとして承知しないのである。

僕はヤキトンを食つてゐる時までは、彼女こそ屋臺店のプリマドンナであると思つてゐたが、かうなるとプリマドンナも何もあつたもんぢやない。途端に彼女の顏が鈴木澄子の化猫面に見えて來たから僕もなかなか現金な男である

僕はあんまり彼の云ひ草がしやくさはつたので『よし、飲んでやる！』と云ひざま、彼女の手からウエスケの壜をひつたくつて亂暴にグラスへ開けた。そして彼女の見てゐる前で、いきなりそいつを大地へまいちまつたのである。これにはさすがの彼女も驚いたらしい。

僕の顏を呆きれたやうに見ながら、恐れをなしてビールを出したから愉快である。

恭頌紀元二千六百年・暑中御伺申上候

四倉町長 新妻盛

元代議士 大浦村々長 木村清治

四倉警防團長 町會議員 金成岩吉

四倉軍友會長 長谷川長太郎

四倉小學校長 篠原保治 外職員一同

大浦村助役 渡邊周平

興亞瓦工業所 四倉町頭 鈴木藤太

四倉藝妓屋組合 電話三十一番

萬年瓦工業株式會社 四倉驛前

日本石油特約店 株式會社 關彰商店四倉支店 驛前 電話四八番

保證責任 四倉信用販賣購買利用組合 四倉新町 電話百三十番

大日本電力株式會社 四倉變電所 原田 電話六番

縣會議員 木村守江

四倉產婆會 會員一同

四倉大敷網 鈴木漁業部 鈴木幸次郎

四倉料理屋保健組合 組合長 椎名忠太郎

渡邊製袋工業所 渡邊留吉 四倉町字原田

植田材木店 植田萬治郎 驛前 電話百十三番

額賀醫院 額賀毅 四倉新町 電話四番

西山眼科醫院 西山義意 四倉本町 電話一五一番

鑛泉旅館 藤屋 高木勝太郎 大野村湯ノ澤

菅波醫院 菅波茂 四倉本町 電話六十三番

保證責任 大浦信用販賣購買利用組合

磐城時報四倉支局 渡邊米藏

吉田醫院 院長 醫學博士 吉田正 四倉仲町 電話四十三番

本田昆布製造工場 本田辰吉 四倉海岸 電話一五三番

佐藤齒科醫院 新町 電話一四八番

長谷川齒科醫院 仲町 電話一一一番

菅波齒科醫院 本町 電話一五四番

双葉郡久之濱町役場 町長 新妻定藏 助役 村岡敬二郎 收入役 大須賀熊吉

鑛泉旅館 石屋 草野又藏 大野村湯之澤

大野村役場 村長 木田織江 助役 荒川庸幸 收入役 宮本竹治郎

四倉驛前 鈴木牛乳店 電話一一四番

一品御料理 一心 四倉町 電話七四番

銘『奥の松』『大七』酒『花井譽』 發賣元 大平酒店 四倉町 電話一三五番

草野村役場 村長 渡邊重彌 助役 豊田酉太郎

銘酒!! 稻妻!! 古川支店 四倉新町 電話一〇番

醬油・味噌釀造元 鱗屋醬油店 四倉新町 電話一〇八番

銘酒『福美』 四家酒店 四倉仲町 電話一四五番

海水浴旅館 海氣館 柏屋 旭館 太平館 松本屋 鈴木屋

味噌醬油釀造 高木屋商店 大浦村仁井田 電話一二六番

於各博覽會・品評會 金銀賞牌受領 鰹節 鯛味噌 しほから 製造 吉田彌十郎商店 四倉港 電話二五番

門馬醫院 門馬倉次郎 四倉本町 電話四十三番

草野 久之濱 神谷 各學校醫 健康保險囑託 坂本惣次郎 草野驛前 出張所 久之濱驛前

拜啓盛夏之候益々御清祥之段奉賀候陳者同窓會定時總會ヲ左記ニ依リ開催候ニ付萬障御繰合セ御出席相成度此段及御案內申上候　敬具

一、期日　八月十日午後一時
一、會場　母校會議室
一、議案　イ、庶務會計報告ノ件
ロ、役員改選之件
ハ、其ノ他

昭和十五年八月七日

福島縣立磐城中學校
同窓會長 清水廣政

盆の御用意!!

◎故人の靈を祀るお盆が近づきました
◎祖先崇拜は家庭繁榮の礎
佛壇、塗位牌、佛金具類等を豊富に取揃へました。
◎値段ばかり安くても品質が粗末では勉强でありません。安いだけでも店はハヤリマセン
盆の御用意は是非當店又は各支店へ

平市四丁目（郵便局向ひ通）
山光堂 佛具造花 問屋 電話五五〇番
石城郡四倉本町
支店 博善社